

慶應義塾大学試験問題用紙（日吉）

		試験時間	90 分	分
平成25年 2 月 4 日 (月) 2 時限施行		学部	学科	年 組
担当者名	仲田 均・井口 達雄 君	学籍番号		
科目名	数学B3	氏 名		
		採点欄	※	

答案用紙は1人2枚配布する。答案用紙1枚目の表面に問題 [1], 裏面に問題 [2], 答案用紙2枚目の表面に問題 [3], 裏面に問題 [4] を解答せよ。

- [1] 次の2重積分およびその極限を計算せよ。ただし, a, b, R は正定数とする。

(1) $\iint_D e^x \sin y \, dx dy, \quad D = \{(x, y); 0 \leq x \leq 1, 0 \leq y \leq \pi\}$

(2) $\iint_D \left(\frac{x^2}{a^2} + \frac{y^2}{b^2} \right) dx dy, \quad D = \{(x, y); x^2 + y^2 \leq R^2\}$

- [2] 次の累次積分の積分順序を交換せよ。ただし, f は \mathbf{R}^2 上の連続関数, a, b は正定数である。

(1) $\int_0^a \left(\int_1^{x+1} f(x, y) dy \right) dx$

(2) $\int_0^a \left(\int_0^{\frac{b}{x+b}} f(x, y) dy \right) dx$

- [3] 2重積分

$$I := \iint_D x \sin\left(\frac{\pi x}{x+y}\right) dx dy, \quad D = \{(x, y) \mid x, y \geq 0, 1 \leq x+y \leq 2\}$$

において $u = \frac{x}{x+y}, v = x+y$ により積分変数を (x, y) から (u, v) に変換する。このとき, 以下の問いに答えよ。

- (1) 変数変換の Jacobian $\frac{\partial(x, y)}{\partial(u, v)}$ を求めよ。

- (2) 積分 I の値を求めよ。

- [4] (1) 以下の級数が収束するかどうかを判定せよ。

(i) $\sum_{n=1}^{\infty} \frac{(n!)^2}{(2n)!}$

(ii) $\sum_{n=1}^{\infty} n^3 \log\left(1 + \frac{1}{2^n}\right)$

- (2) 以下の z に関するべき級数の収束半径を求めよ。ただし, a は正定数である。

(i) $\sum_{n=0}^{\infty} \frac{(-1)^{n-1}}{n!} z^n$

(ii) $\sum_{n=0}^{\infty} \frac{na^n}{n+2} z^n$

$e^{\frac{1}{n} \log \frac{n}{n+2}}$
 $e^{\frac{1}{n} \log n - \log(n+2)}$